

令和8年度全国学力・学習状況調査

呉市教育委員会
学 校 教 育 課

○実 施 日 令和8年4月23日（木）

○対象及び教科 小学校（義務教育学校前期課程を含む。）第6学年全児童 国語，算数
中学校（義務教育学校後期課程を含む。）第3学年全生徒 国語，数学，英語

○教科に関する調査の結果（平均正答率（％））

校 種	教 科	呉 市	全 国	広島県
小学校	国 語	63	60.9	64
	算 数	58	56.4	58
中学校	国 語	64	63.9	64
	数 学	55	57.0	57

※県及び市の平均正答率については，小数点以下は公表されていない。

校 種	教 科	呉 市	全 国	広島県
中学校	英 語	48.1	49.9	49.3

※中学校英語については，平均 I R T スコアで表されている。

※ I R T スコアとは，生徒の正答・誤答が，問題の特性（難易度，測定精度）によるのか，生徒の学力によるのかを区別して分析し，生徒の学力スコアを推定する統計理論。

【国 語】 小学校国語及び中学校国語は全国平均を上回っている。

【算数・数学】 小学校算数は全国平均を上回り，中学校数学は全国平均を下回っている。

【英 語】 中学校英語は全国平均を下回っている。

1 呉市と全国平均・県平均

【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分		呉 市	全国との比較	全 国	広島県
学習指導要領の 内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	6 7 . 0	+ 0 . 2	6 6 . 8	7 0 . 2
		情報の扱い方に関する事項	5 4 . 5	+ 2 . 2	5 2 . 3	5 4 . 9
	思考力，判断力， 表現力等	話すこと・聞くこと	6 7 . 8	+ 2 . 0	6 5 . 8	6 7 . 8
		書くこと	4 7 . 3	+ 1 . 6	4 5 . 7	4 8 . 3
		読むこと	6 9 . 8	+ 3 . 9	6 5 . 9	6 9 . 0
問題形式	選択式		6 3 . 7	+ 1 . 8	6 1 . 9	6 4 . 2
	短答式		5 9 . 8	－ 2 . 8	6 2 . 6	6 6 . 4
	記述式		6 0 . 8	+ 5 . 9	5 4 . 9	5 9 . 1

【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分		呉 市	全国との比較	全 国	広島県
学習指導要領の 内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	6 2 . 5	－ 0 . 5	6 3 . 0	6 2 . 1
		情報の扱い方に関する事項	7 0 . 5	＋ 0 . 1	7 0 . 4	7 0 . 4
	思考力，判断力， 表現力等	話すこと・聞くこと	6 4 . 9	＋ 1 . 0	6 3 . 9	6 4 . 2
		書くこと	6 7 . 6	＋ 0 . 2	6 7 . 4	6 8 . 1
		読むこと	5 9 . 2	－ 0 . 5	5 9 . 7	6 1 . 1
問題形式	選択式		7 2 . 9	＋ 0 . 2	7 2 . 7	7 2 . 3
	短答式		5 5 . 9	＋ 0 . 1	5 5 . 8	5 6 . 2
	記述式		4 4 . 6	－ 0 . 9	4 5 . 5	4 7 . 1

2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は内容 （ ）内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○文章を読んで理解したことに基 づいて、自分の考えをまとめる。 【読むこと（記述式）】 ○比喩や反復などの表現の工夫に 気付く。 【言葉の特徴や使い方に関する事 項（選択式）】	●学年別漢字配当表に示されて いる漢字を文の中で正しく使 う。 【言葉の特徴や使い方に関する 事項（短答式）】 ●筋道の通った文章となるよう に、文章全体の構成や展開を 考える。 【書くこと（選択式）】	◇同音異義語の語句や漢字を調べ、 その意味を比べる活動を通して、 字義の理解や漢字を使うことの よさを実感できるようにする。また、 国語科のみならず、他教科や 日常生活の中でも漢字を正しく 用いる習慣を身に付けることが できるようにする。 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ◇文章全体の構成を考える際、これ まで扱ってきた説明的な文章を 想起し、どのような論の進め方が あり、その効果について整理する 場を設定する。【書くこと】
中学校 第3学年	○必要に応じて質問しながら話の 内容を捉える。 【話すこと・聞くこと（選択式）】 ○表現の効果を考えて描写する。 【書くこと（短答式）】	●表現の工夫とその効果につい て、読み手からの助言を踏ま え、よい点や改善点を見いだ す。 【書くこと（記述式）】 ●文章を読んで理解したことに 基づいて、自分の考えを確か なものにする。 【読むこと（記述式）】	◇書いた文章を推敲する学習活動 において、表現の工夫とその効 果などの観点から、よい点や改 善点を見いだし、どのように改 善するかや、自分の書く活動へ 生かすこと等を交流する場を設 定し、文章で表現できるように する。【書くこと】 ◇文章を読み、具体的な場面を思 い浮かべ、「構造と内容の把握」 や「精査・解釈」の学習過程を 通して理解したと結び付 け、自分が文章をどのように捉 えて精査・解釈したかを振り返 り、文章でまとめさせる場を設 定する。【読むこと】

算数・数学

1 呉市と全国平均・県平均

【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と計算	62.5	+1.4	61.1	62.8
	図形	55.5	+0.2	55.3	57.9
	測定	76.3	-1.8	78.1	77.6
	変化と関係	39.5	-1.6	41.1	41.9
	データの活用	51.3	+2.7	48.6	51.1
問題形式	選択式	57.1	+1.1	56.0	57.4
	短答式	59.2	-0.5	59.7	61.1
	記述式	54.2	+5.7	48.5	52.8

【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と式	66.6	-1.2	67.8	68.1
	図形	43.5	-5.2	48.7	47.8
	関数	54.0	-0.8	54.8	54.7
	データの活用	52.3	-1.2	53.5	52.9
問題形式	選択式	55.8	-3.5	59.3	59.0
	短答式	62.9	-1.3	64.2	63.4
	記述式	36.1	-3.0	39.1	39.9

2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は領域 ()内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○立方体の体積の計算による求め方について理解する。 【図形（短答式）】 ○示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述する。 【データの活用（記述式）】	●体積の意味について理解する。 【図形（短答式）】 ●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商からどちらの方が混んでいるのかについて判断する。 【変化と関係（選択式）】	◇体積も面積などと同じように、単位の大きさを決めるとその幾つ分として数値化して捉えられることを理解する活動を設定する。 【図形】 ◇図や数直線などを用いて、単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解する活動を設定する。 【変化と関係】
中学校 第3学年	○起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができる。 【データの活用（短答式）】 ○問題場面における考察の対象を明確に捉える。 【数と式（短答式）】	●筋道を立てて考え、証明することができる。 【図形（記述式）】 ●2直線が平行になるための条件を理解している。 【図形（短答式）】	◇説明や証明を行う際に、適用題として問題の条件を変えることで、前の問題との違いや共通点を考える場を設定する。また、生徒自身に問題の条件を変えさせたり、結果を予想させたりする場を設定する。 【全領域共通】

1 呉市と全国平均・県平均

【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

問題別の平均正答率のみ示されているため、「国語」「算数・数学」と同様の記載は不可

2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は領域 ()内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
中学校 第3学年	○音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 【読むこと（選択式）】	●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 【聞くこと（選択式）】 ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 【書くこと（短答式）】	◇自然な速さで話される音声を聞いて、語と語の連結による音変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションに慣れる活動や聞いた音声を、意味を考えながら話された通りに話したり書いたりして、自分で英文を組み立てる活動を設定する。 【聞くこと】 ◇ある場面と関連付けて文法事項などを活用して英語を書き、いつ使えるかなど使い方を把握したり、既習の文法事項と新しく学んだ文法事項とを比較し、共通点や相違点を考えたりする活動を設定する。 【書くこと】